



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社
コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神澤 陸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 佐藤 公衛

TEL 0263-25-9081

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	31,798	2.7	3,564	28.1	3,964	34.3	2,471	70.6
23年3月期第2四半期	30,976	△2.2	2,782	△28.1	2,952	△28.4	1,449	△39.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1,906百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △793百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	46.67	—
23年3月期第2四半期	26.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	142,931	120,575	84.2	2,338.73
23年3月期	146,248	123,932	84.6	2,280.04

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 120,382百万円 23年3月期 123,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
24年3月期	—	18.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,600	0.3	6,500	0.6	7,200	3.8	4,600	14.9	89.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	56,911,185 株	23年3月期	56,911,185 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	5,437,753 株	23年3月期	2,637,549 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	52,960,976 株	23年3月期2Q	54,274,886 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 追加情報	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(8) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制施策の進展に加え、国内外の企業間競争がより熾烈化するなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、海外景気の減速や円高の進行などによる景気悪化への懸念、企業におけるIT投資及び設備投資への慎重な姿勢や依然として低水準な個人消費など、内需の低迷を背景に厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第2四半期の業績は以下のとおりとなりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	30,976	31,798	2.7
営業利益 (百万円)	2,782	3,564	28.1
経常利益 (百万円)	2,952	3,964	34.3
四半期純利益 (百万円)	1,449	2,471	70.6

医薬品事業の売上高は、277億5千万円（前年同期比0.5%減）となりました。本年4月に製造販売承認を取得いたしました糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」（ミチグリニドとボグリボースとの配合剤、開発番号KMV-0207）の販売に向けた準備を進め、薬価基準収載後の本年7月22日に新発売いたしましたほか、昨年5月に新発売いたしました腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。主に研究開発テーマの導出に係るマイルストーン収入などの技術料売上が減少いたしました。また、欧州における前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名「ユリーフ。」）の技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、昨年6月にドイツ国内において製品名「UROREC®」として新発売して以降、引き続き欧州各国において発売ならびに発売に向けた準備を進めております。

その他の事業の売上高は、40億4千8百万円（前年同期比31.1%増）となりました。情報サービス業で減収となりましたものの、物品販売業、建設請負業におきまして増収となりました。

利益面では、医薬品事業での技術料売上の減少による売上原価率の上昇及びその他の事業での売上原価率の上昇などがありましたが、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少いたしましたことから、営業利益及び経常利益は増益となりました。また、四半期純利益につきましては前年同期に計上いたしました投資有価証券評価損などの特別損失が減少いたしましたことなどにより大幅な増益となりました。

研究開発の状況につきましては、引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。また、厚生労働省が設置しました「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において医療上の必要性が高い薬剤と評価され開発企業の募集が行われました抗癌剤静脈内投与による血管外漏出治療薬「デクスラゾキサン」につきまして、本年8月に日本における開発・販売権を取得する契約をスペファーム社（オランダ）と締結し、国内開発を行うことといたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,429億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億1千6百万円減少しました。流動資産は商品及び製品が増加しましたが、現金及び預金、有価証券が減少したことなどにより、34億9千4百万円減少し863億5千7百万円となりました。固定資産は有形固定資産及び無形固定資産が減少した一方、長期前払費用が増加したことなどにより、1億7千7百万円増加し565億7千4百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は223億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千9百万円増加しました。流動負債は支払手形及び買掛金が減少しましたが、流動負債「その他」に含まれる未払金が増加したことなどにより、1億2千5百万円増加し160億3千2百万円となりました。固定負債は長期借入金の減少などにより8千5百万円減少し63億2千3百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,205億7千5百万円となり、自己株式が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ33億5千6百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.6%から84.2%となりました。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より30億6千7百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末では470億8千6百万円（前連結会計年度末比6.1%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、売上債権やその他の流動資産ならびにその他の流動負債の増減額などにおいて資金の減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益が増加したほか、法人税等の支払額が減少したことなどにより前年同四半期に比べ19億6千1百万円増の37億7千2百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が減少した一方、長期前払費用の取得による支出が増加したことなどにより前年同四半期に比べ2億5千9百万円支出増の11億7千万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ50億2千2百万円支出増の56億6千6百万円の支出となりました。主な要因は自己株式の取得による支出が増加したことなどによります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月10日発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,115	20,548
受取手形及び売掛金	23,012	22,849
有価証券	27,500	26,797
商品及び製品	5,280	5,818
仕掛品	1,517	1,507
原材料及び貯蔵品	4,212	4,151
繰延税金資産	2,327	2,172
その他	2,900	2,522
貸倒引当金	△17	△11
流動資産合計	89,851	86,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,271	36,442
減価償却累計額	△24,651	△25,034
建物及び構築物（純額）	11,619	11,408
土地	13,367	13,191
建設仮勘定	72	278
その他	13,738	13,657
減価償却累計額	△11,700	△11,698
その他（純額）	2,037	1,959
有形固定資産合計	27,096	26,838
無形固定資産	1,378	1,102
投資その他の資産		
投資有価証券	24,434	24,215
繰延税金資産	2,171	2,375
その他	1,363	2,093
貸倒引当金	△47	△52
投資その他の資産合計	27,922	28,632
固定資産合計	56,396	56,574
資産合計	146,248	142,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,228	4,750
短期借入金	2,325	2,101
未払法人税等	1,104	1,310
賞与引当金	2,127	2,309
その他の引当金	795	639
その他	4,326	4,919
流動負債合計	15,907	16,032
固定負債		
長期借入金	1,768	1,598
退職給付引当金	3,830	3,917
役員退職慰労引当金	118	124
資産除去債務	114	116
その他	578	567
固定負債合計	6,409	6,323
負債合計	22,316	22,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,254
利益剰余金	77,796	79,345
自己株式	△4,339	△8,679
株主資本合計	122,067	119,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,678	1,105
その他の包括利益累計額合計	1,678	1,105
少数株主持分	186	193
純資産合計	123,932	120,575
負債純資産合計	146,248	142,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	30,976	31,798
売上原価	9,680	11,216
売上総利益	21,295	20,581
返品調整引当金戻入額	62	68
返品調整引当金繰入額	77	16
差引売上総利益	21,280	20,633
販売費及び一般管理費	18,498	17,069
営業利益	2,782	3,564
営業外収益		
受取利息	43	33
受取配当金	354	341
有価証券評価益	—	13
その他	59	69
営業外収益合計	457	457
営業外費用		
支払利息	25	21
有価証券評価損	93	—
投資事業組合運用損	135	1
為替差損	18	17
その他	13	16
営業外費用合計	287	56
経常利益	2,952	3,964
特別利益		
固定資産売却益	1	77
投資有価証券売却益	340	—
特別利益合計	342	77
特別損失		
投資有価証券評価損	783	0
減損損失	2	162
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	110	—
その他	24	40
特別損失合計	920	202
税金等調整前四半期純利益	2,374	3,838
法人税、住民税及び事業税	956	1,029
法人税等調整額	△31	329
法人税等合計	924	1,359
少数株主損益調整前四半期純利益	1,449	2,479
少数株主利益	0	7
四半期純利益	1,449	2,471

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,449	2,479
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,243	△572
その他の包括利益合計	△2,243	△572
四半期包括利益	△793	1,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△794	1,898
少数株主に係る四半期包括利益	0	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,374	3,838
減価償却費	1,360	1,248
引当金の増減額 (△は減少)	18	119
減損損失	2	162
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	110	—
受取利息及び受取配当金	△397	△374
支払利息	25	21
為替差損益 (△は益)	3	2
有価証券評価損益 (△は益)	93	△13
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	△77
固定資産処分損益 (△は益)	24	40
投資有価証券売却損益 (△は益)	△340	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	783	0
売上債権の増減額 (△は増加)	778	163
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△954	△466
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	778	96
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,162	△477
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	950	△10
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△861	△7
その他	137	0
小計	3,724	4,264
利息及び配当金の受取額	376	350
利息の支払額	△26	△21
法人税等の支払額	△2,263	△821
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,810	3,772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△53	△53
定期預金の払戻による収入	64	54
特定金銭信託の払戻による収入	41	35
有形固定資産の取得による支出	△1,116	△823
有形固定資産の売却による収入	8	111
国庫補助金等受入による収入	159	159
無形固定資産の取得による支出	△109	△61
投資有価証券の取得による支出	△416	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	478	41
貸付けによる支出	△141	△124
貸付金の回収による収入	185	256
長期前払費用の取得による支出	△6	△767
その他	△5	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△911	△1,170

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150	270
短期借入金の返済による支出	△33	△593
長期借入れによる収入	223	—
長期借入金の返済による支出	△81	△70
リース債務の返済による支出	△32	△9
自己株式の取得による支出	△1	△4,339
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△868	△922
財務活動によるキャッシュ・フロー	△644	△5,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	251	△3,067
現金及び現金同等物の期首残高	48,681	50,153
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,932	47,086

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他（注） （百万円）	合計 （百万円）
	医薬品 （百万円）	計 （百万円）		
売上高				
外部顧客への売上高	27,887	27,887	3,088	30,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	2	2,119	2,121
計	27,890	27,890	5,207	33,097
セグメント利益	2,630	2,630	109	2,740

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	2,630
「その他」の区分の利益	109
セグメント間取引消去	29
固定資産の調整額	12
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	2,782

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		その他（注） （百万円）	合計 （百万円）
	医薬品 （百万円）	計 （百万円）		
売上高				
外部顧客への売上高	27,750	27,750	4,048	31,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,208	2,208
計	27,750	27,750	6,257	34,007
セグメント利益	3,446	3,446	87	3,534

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	3,446
「その他」の区分の利益	87
セグメント間取引消去	29
固定資産の調整額	3
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	3,564

（7）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月10日開催の取締役会決議により、自己株式の取得を実施いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が4,339百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は8,679百万円となっております。

（8）重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	3,093	10.0	3,961	12.4	867	28.0
神経系用薬	1,532	4.9	1,260	4.0	△272	△17.8
感覚器官用薬	1,369	4.4	1,154	3.6	△215	△15.7
循環器官用薬	4,730	15.2	4,441	14.0	△289	△6.1
消化器官用薬	1,446	4.7	1,450	4.6	4	0.3
ホルモン・泌尿生殖・ 血液体液用薬	8,164	26.4	8,720	27.4	556	6.8
アレルギー用薬	1,070	3.5	980	3.1	△89	△8.4
その他	6,480	20.9	5,780	18.2	△699	△10.8
報告セグメント計	27,887	90.0	27,750	87.3	△137	△0.5
その他の事業	3,088	10.0	4,048	12.7	960	31.1
合計	30,976	100.0	31,798	100.0	822	2.7
(うち輸出高)	(1,978)	(6.4)	(1,548)	(4.9)	(△430)	(△21.7)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。